

未来へつなぐ、日野市核兵器廃絶・平和都市宣言

いまから約40年前の昭和57年(1982年)に、市民の皆様から市議会へ、ある請願が提出されました。核兵器廃絶と世界恒久平和を願う「非核都市宣言に関する請願」です。この請願は全会一致で採択され、その後「日野市核兵器廃絶・平和都市宣言」(以下、平和宣言)として誕生いたしました。

平和宣言では、核兵器は人の命を奪い、環境と文明を破壊し、地球を持続不可能な状態に陥らせることが表現されています。そして、戦争のない平和な日常がなければ、市民生活は成り立たないことを、力強い文章で訴えています。地球の持続というグローバルな視点と、平和な日常を願うローカルな視点を持ち合わせた、時代を先取りした誇らしい宣言です。

市では、平和宣言制定後40周年を迎えた令和4年から令和5年までの2年間、市民の皆様とともに、宣言の成り立ちや当時の時代背景を学び、意見交換を行ってまいりました。その中で、まず、昭和57年の宣言制定当時は、東西冷戦のさなかで、核の脅威が市民生活のすぐそばにあったことを学びました。

その後、平成元年(1989年)の東西冷戦終結、平成3年(1991年)のソビエト連邦崩壊後も、世界中で戦禍は無くならず、現在は、むしろ核兵器使用が具体的かつ現実的な選択肢の一つとして示唆され、それに対抗するように核兵器の増強や近代化が進められ、核軍拡競争になりかねない様相を呈しています。

折しも令和4年から5年までの2年間は、ロシアによるウクライナ侵攻や、イスラエルによるガザ地区攻撃が起こり、誰もが現地の状況に胸を痛め、あらためて平和の大切さを想う時でもありました。

平和宣言制定当時の市民の皆様は、未来の市民である私たちへ、「世界の戦争・紛争を遠い国の出来事とせず、ひとたび核兵器が使用されれば罪のない多くの一般市民が犠牲になることや、どの国の人々にも日常があり、愛する家族があり、明日への希望があることを心に留め、私たち一人ひとりが関心を持ち続けることが、平和に向けた大きな力になる」というメッセージを平和宣言に込めたのではないのでしょうか。

平和宣言は「米ソ両国」などの古い文言を含んでおり、現代に合う文言に修正することも可能です。しかし、そこに込められた想いや意図することは今も変わっておらず、過去から現代、そして未来へと、重要性を持って受け継いでいくことが、日野市の責務であると考えます。

令和4年から5年までの2年間に市民の皆様と行った勉強会、意見交換会、市民アンケートを通して、次の2つの方向性が見出されました。

- ①日野市平和宣言を、このまま大切に継承していく
- ②今後の取組みとして、宣言文を学ぶ機会や、子どもから大人まで参加しやすい平和事業を行う
(これまでの取組経過や、市民アンケート結果は文末に記しますのでご参照ください。)

この方向性の報告を含め、本年8月4日には、令和4年からこれまでの平和宣言に関する取組のまとめとして、「(仮称)平和のつどい」を開催します。平和宣言の成り立ちを学ぶ講演会と、講演会の内容をその場でアーティストがイラスト化していくライブイベントです。お子様にもわかりやすく平和宣言を学んでいただけますので、ぜひご参加ください。

日野市は、日野市核兵器廃絶・平和都市宣言をこのまま大切に継承し、宣言文を学ぶ機会や、子どもから大人まで参加しやすい平和事業を行うことで、市民の皆様一人ひとりが平和について学びきっかけとなる取組を行ってまいります。

平和に向けて、市民の皆様と共に。

令和6年5月1日

日野市長 大坪冬彦

◆取組経過

令和4年度

8月20日	第1回 みんなで話そう！「平和都市宣言」って遠いもの？わたしたちとのつながり
10月16日	第2回 みんなで話そう！平和都市宣言のこれから
1月15日	第3回 日野の戦跡を通して

令和5年度

5月21日	第1回 SDGs 福祉 × 平和
7月23日	第2回 SDGs 食 × 平和
8月 6日	第3回 SDGs 産業 × 環境 × 平和
10月29日	第4回 みんなで話そう・平和宣言

◆知って学べる簡単平和アンケート結果（抜粋）

令和6年1月26日～2月29日 オンラインにより実施 回答数 336 人

Q. 「宣言文をこのまま大切に継承していく」という方向性にさらにご意見があればお聞かせください。

意見なし、そのままよい 321 件（96%）

文言修正した方がよい 15 件（4%）

Q. 「今後の取組として、宣言文を学ぶ機会や子どもから大人まで参加しやすい平和事業を」という方向性に、さらにご意見があれば、お聞かせください。（自由記述）

主な回答

子どもたちが平和の大切さや日野市の平和宣言について学ぶ機会を
日野市の平和宣言の背景から学べるように、わかりやすい冊子の作成
戦争体験者の話を聞く機会をふやし、録画等、記憶を継承していく
その時々の世界情勢や時事を触れつつ平和宣言について学べるイベント
平和をテーマにした芸術作品展、映画上映、討論会など

※アンケートの詳細は市ホームページからご覧ください。